

# 東京ガス株式会社 2004年度決算説明会

2005年4月28日

代表取締役社長 市野紀生

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場、原油価格の変動ならびに天候の異変等があります。

# 目次

---

1. 2004年度決算概要/2005年度見通し
2. 「フロンティア2007」進捗状況
3. 主要計数表

このプレゼンテーション資料は当社ホームページ『IR情報』に掲載しております。

URL:[http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir\\_j.html](http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir_j.html)

## 2004年度決算ポイント

### ◆対前期比\* 増収増益

《プラス要因》

- ・ 拡販によるガス売上の増
- ・ 減価償却費等の減とコストダウン努力

《マイナス要因》

- ・ 原油価格の高騰による原材料費の増
- ・ 料金引下げによる収益の減

\*04年度より連結範囲を拡大

(連結子会社18社+持分法適用関連会社1社

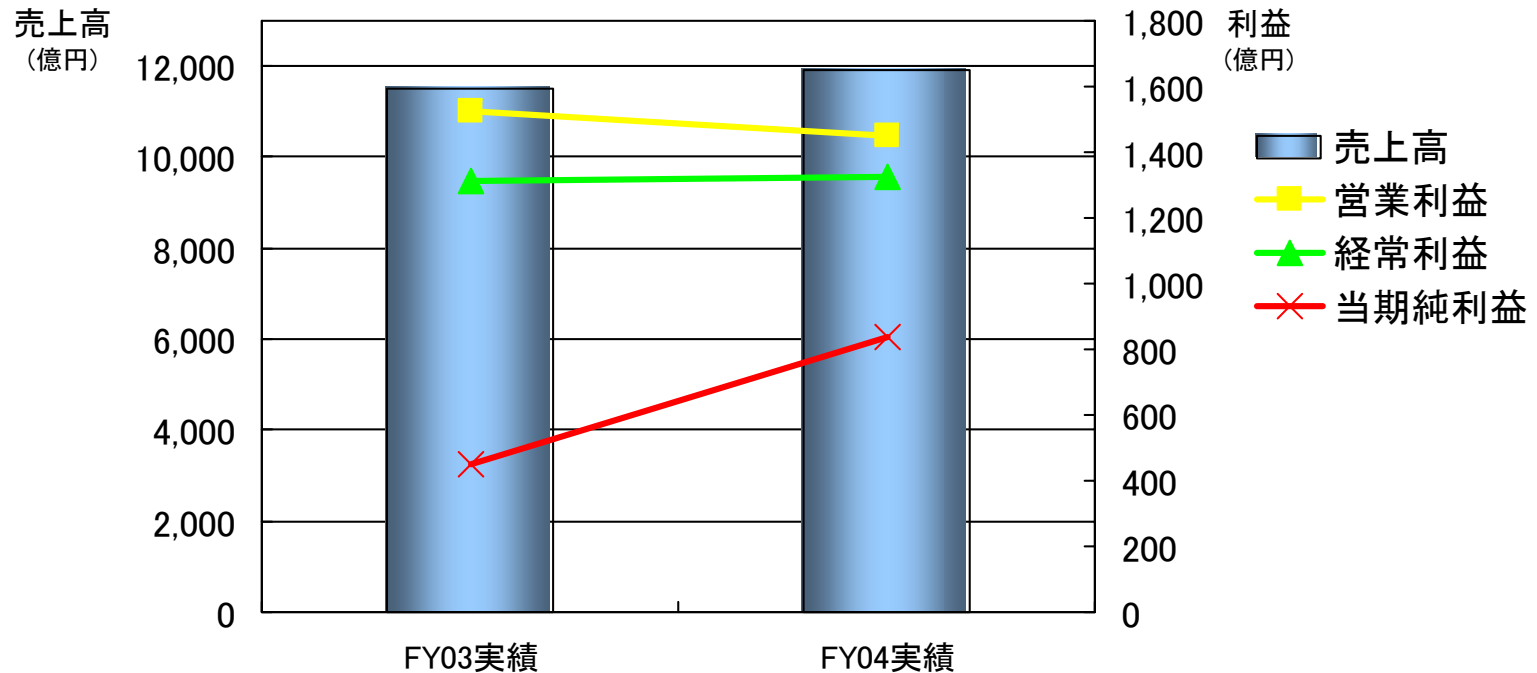
→ 連結子会社52社+持分法適用関連会社1社)

# 決算総括 (対前年実績)

(億円未満切捨て)

	FY03	FY04	増減	連結範囲 拡大の影響
売上高	11,518	<b>11,907</b>	+389(+3.4%)	+431
営業利益	1,522	<b>1,453</b>	-69(-4.6%)	+25
経常利益	1,310	<b>1,328</b>	+18(+1.3%)	+16
当期純利益	447	<b>840</b>	+393(+87.7%)	-4

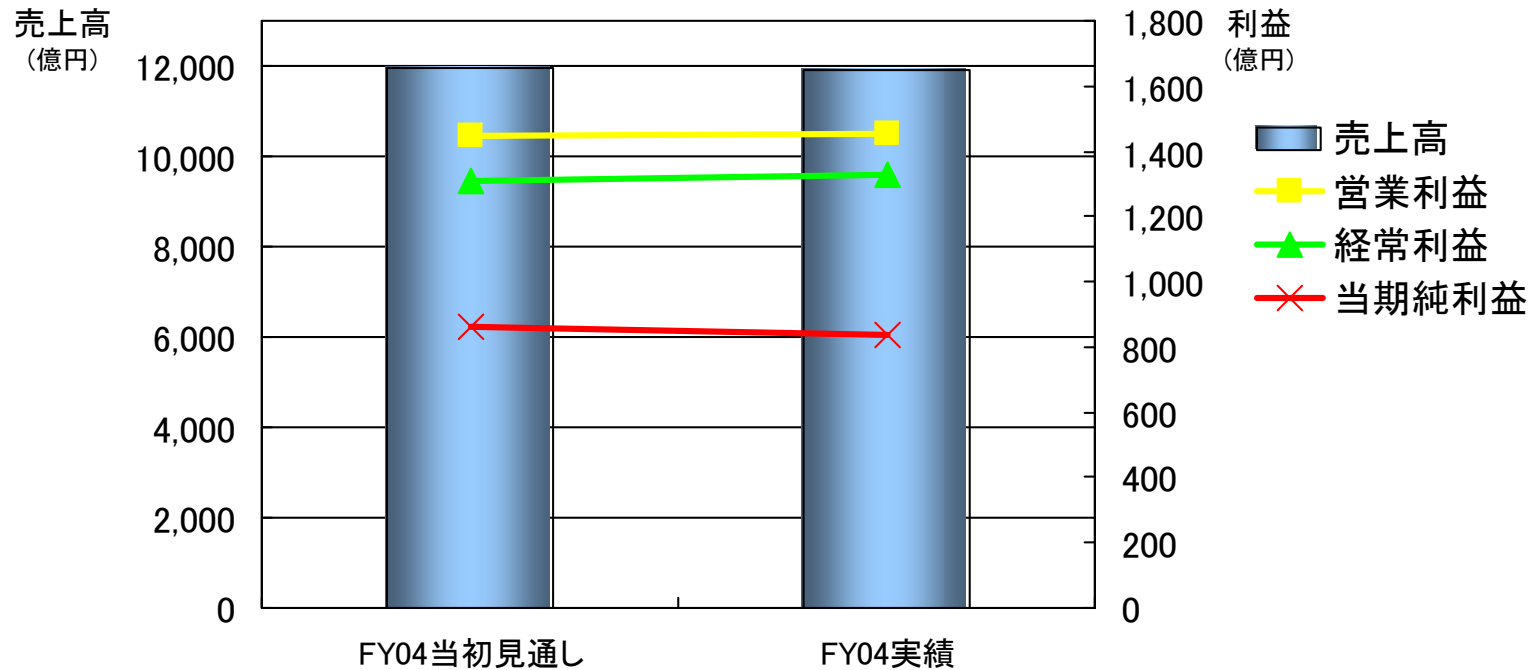
\*従来の連結範囲で連結決算を行った場合との比較(04年度より連結範囲を18社→52社へ拡大)



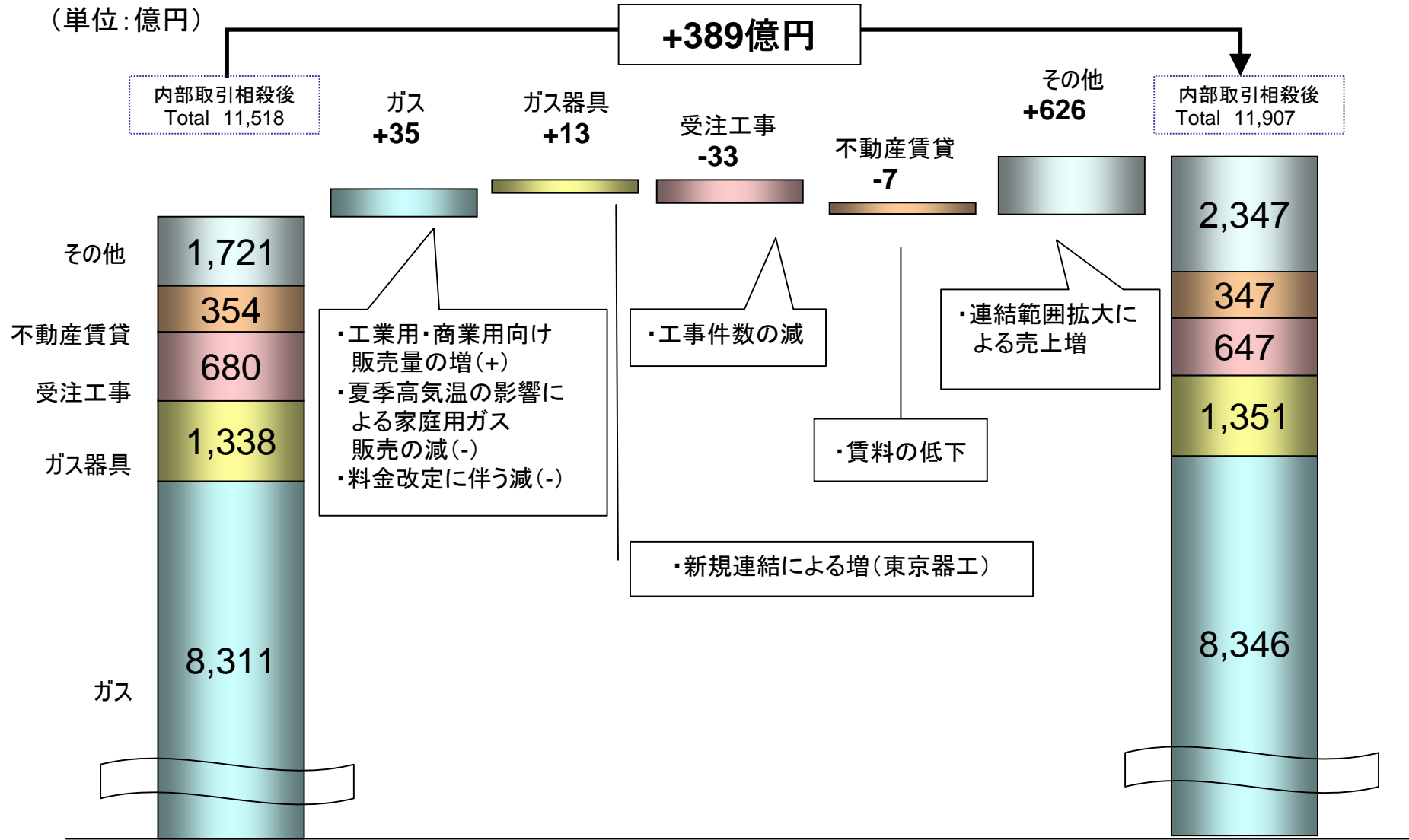
# 決算総括 (対当初見通し)

(億円未満切捨て)

	当初見通し	FY04実績	増減
売上高	11,970	<b>11,907</b>	-63(-0.5%)
営業利益	1,450	<b>1,453</b>	+3(+0.2%)
経常利益	1,310	<b>1,328</b>	+18(+1.4%)
当期純利益	860	<b>840</b>	-20(-2.3%)



# 売上高増減要因

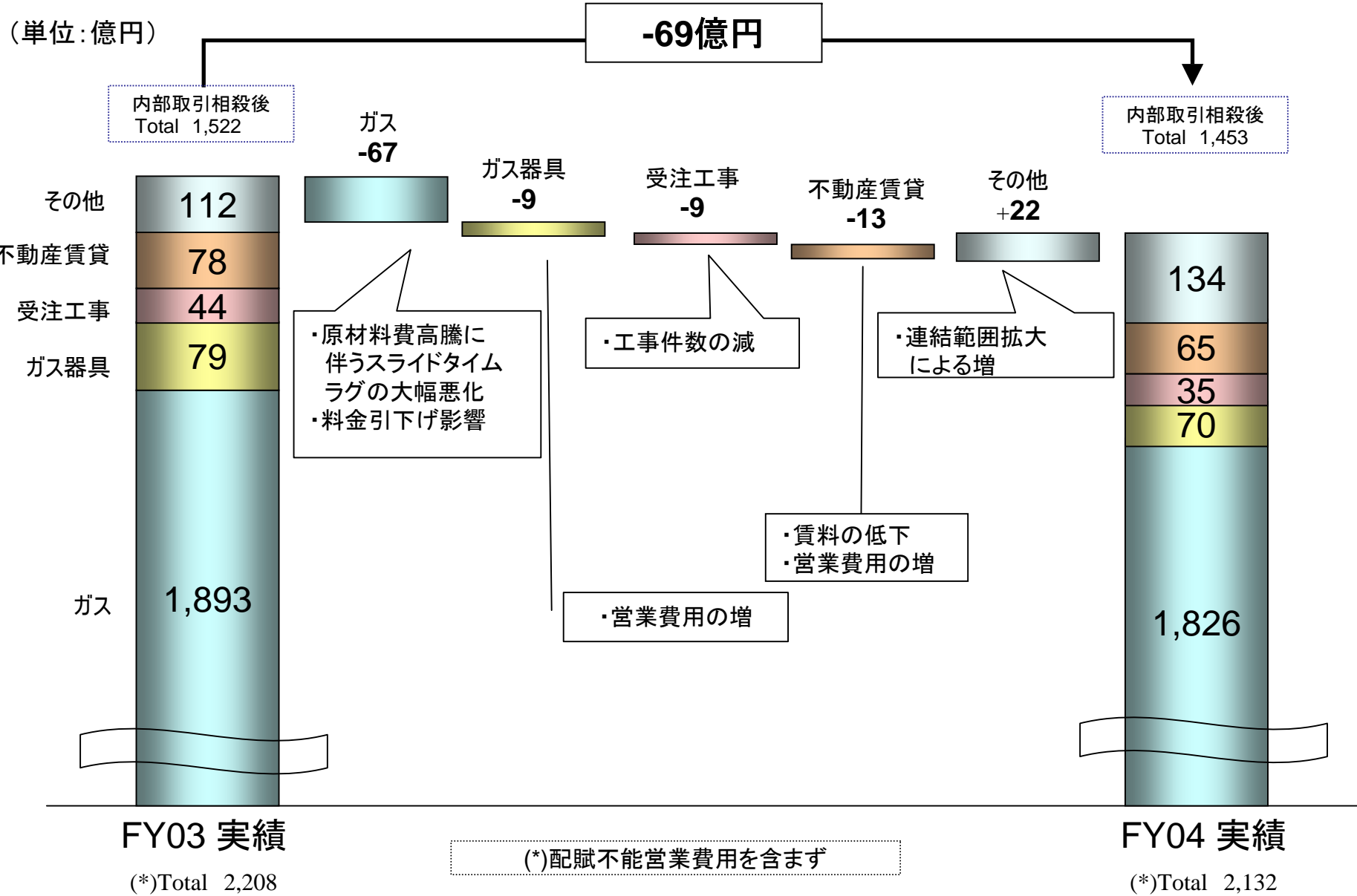


FY03 実績  
(\*)Total 12,406

(\*)売上高には事業間の内部取引を含む

FY04 実績  
(\*)Total 13,039

# 営業利益増減要因



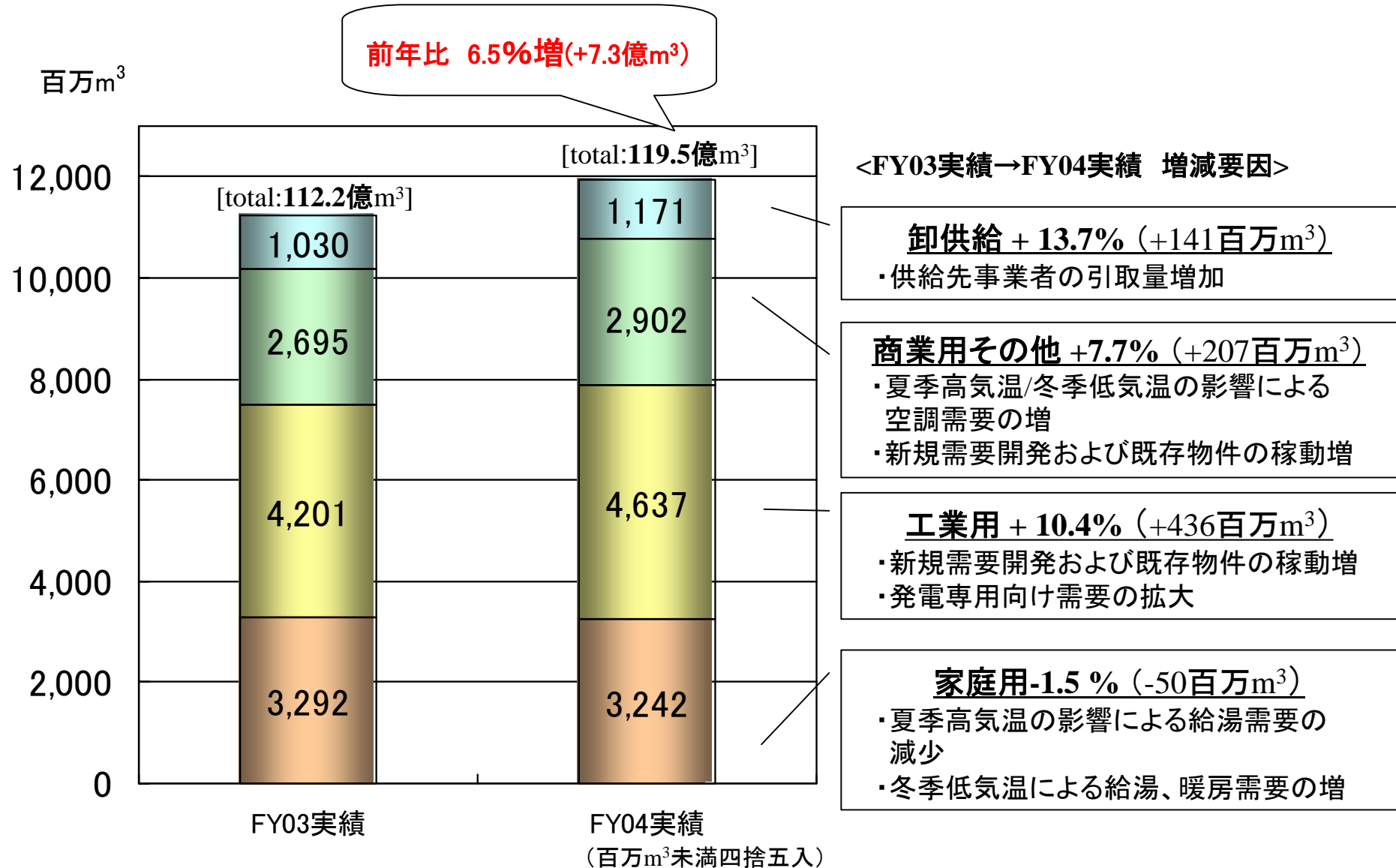
# 営業外損益・特別損益

(億円未満切捨て)

	FY03 実績	FY04 実績	増減	主な増減要因
<b>営業利益</b>	<b>1,522</b>	<b>1,453</b>	<b>-69</b>	
営業外損益	-211	-124	+87	
営業外収益	91	121	+29	天候デリバティブ差益(+27億円)他
営業外費用	303	246	-57	社債償還損(-36億円) 支払利息の減(-16億円)他
<b>経常利益</b>	<b>1,310</b>	<b>1,328</b>	<b>+17</b>	
特別損益	-579	4	+584	
特別利益	84	57	-26	投資有価証券売却益(+46億円) 03年度退職給付引当金取崩益(-56億円)他
特別損失	663	52	-611	03年度退職給付数理差異一括償却(-589億円) 03年度固定資産減損損失(-21億円) 特別退職金増(+34億円)他
法人税等	283	492	+209	
<b>当期純利益</b>	<b>447</b>	<b>840</b>	<b>+392</b>	



# ガス販売量実績 (連結・対前年実績)

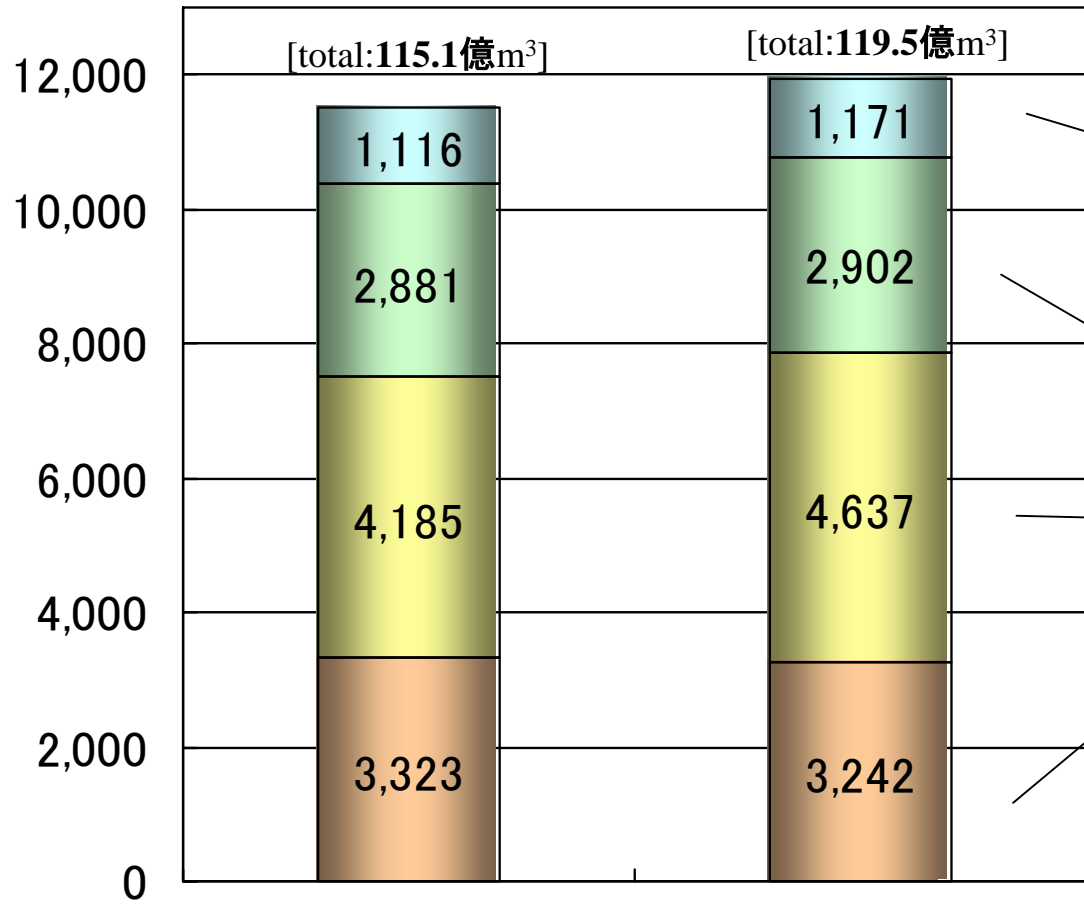




# TOKYO GAS ガス販売量実績 (連結・対当初見通し)

当初見通し比 3.9%増(+4.5億m<sup>3</sup>)

百万m<sup>3</sup>



<FY04当初見通し→FY04実績 増減要因>

**卸供給 +4.9% (+55百万m<sup>3</sup>)**  
 ・供給先事業者の引取量増加

**商業用その他 +0.7% (+21百万m<sup>3</sup>)**  
 ・夏季高気温・冬季低気温の影響による空調需要の増

**工業用 +10.8% (+452百万m<sup>3</sup>)**  
 ・既存物件の稼働増  
 ・発電専用向け需要の拡大

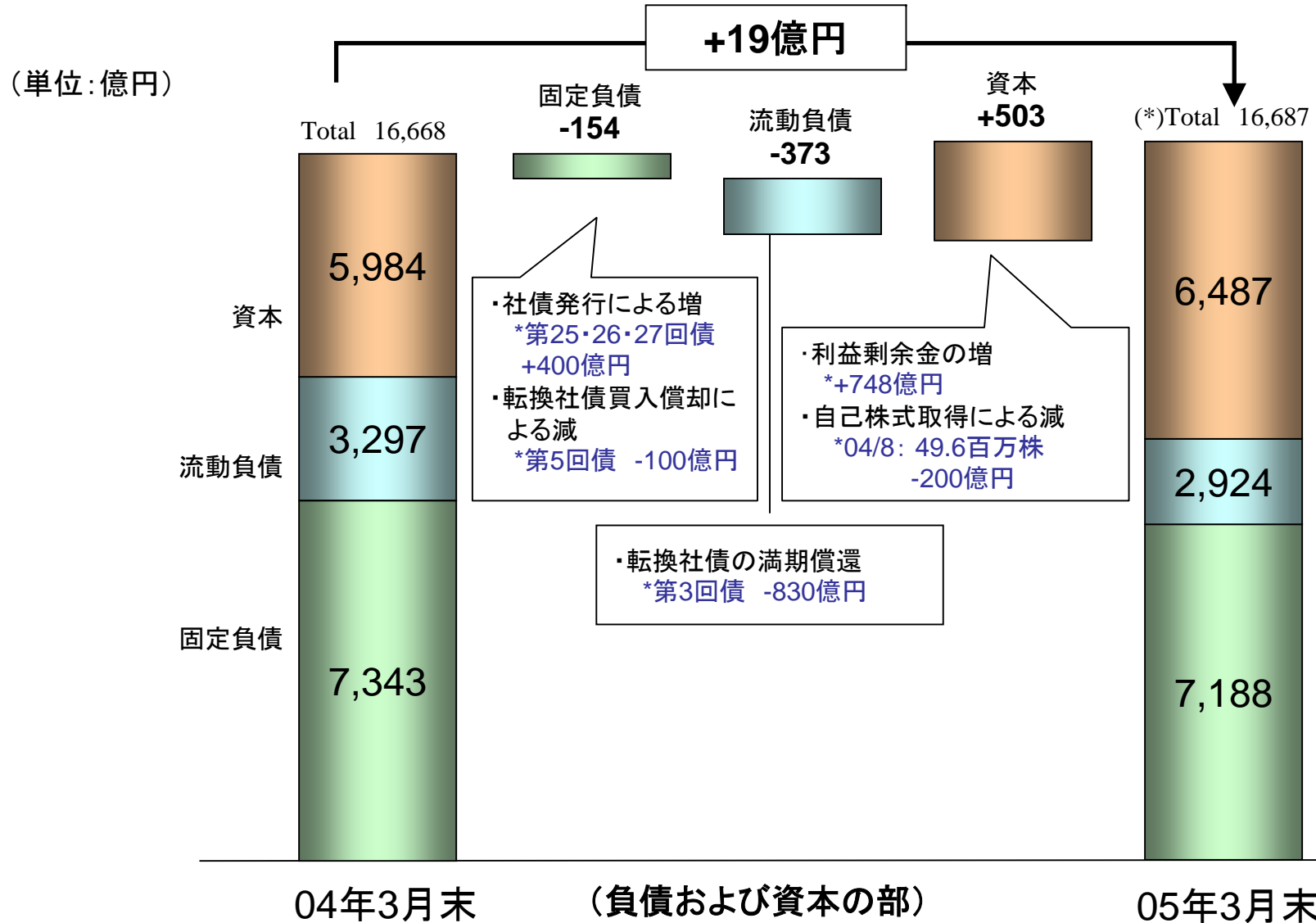
**家庭用 -2.4% (-81百万m<sup>3</sup>)**  
 ・夏季高気温の影響による給湯需要の減少

FY04当初見通し

FY04実績  
(百万m<sup>3</sup>未満四捨五入)



# BS増減要因



## 2005年度見通しのポイント

### ◆対前期比減益

《プラス要因》

- ・営業努力によるガス販売量増
- ・既存諸経費の全社一律削減

《マイナス要因》

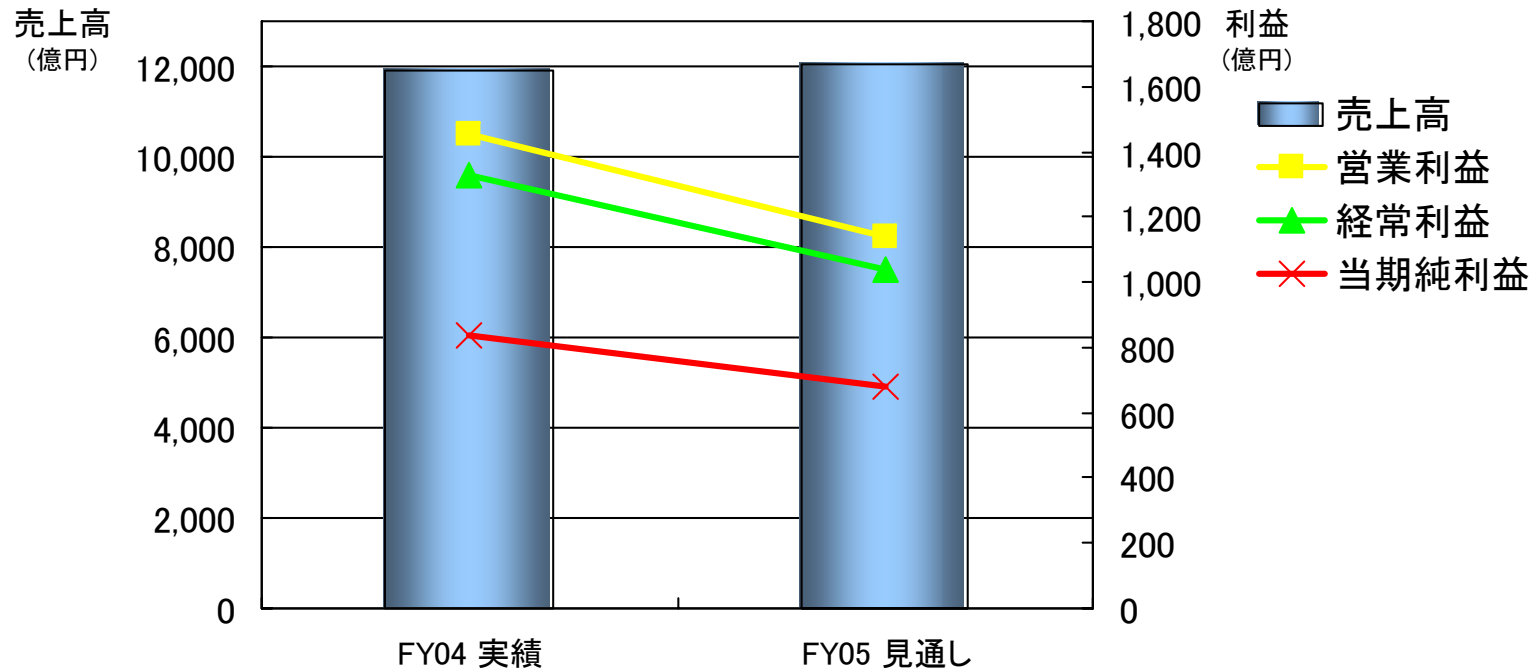
- ・料金引下げの通期影響による減収
- ・退職給付数理計算上差異等の計上による諸給与の増加

「フロンティア2007」最終年度(2007年度)の  
経営目標をほぼ達成の見通し

# 2005年度見通し

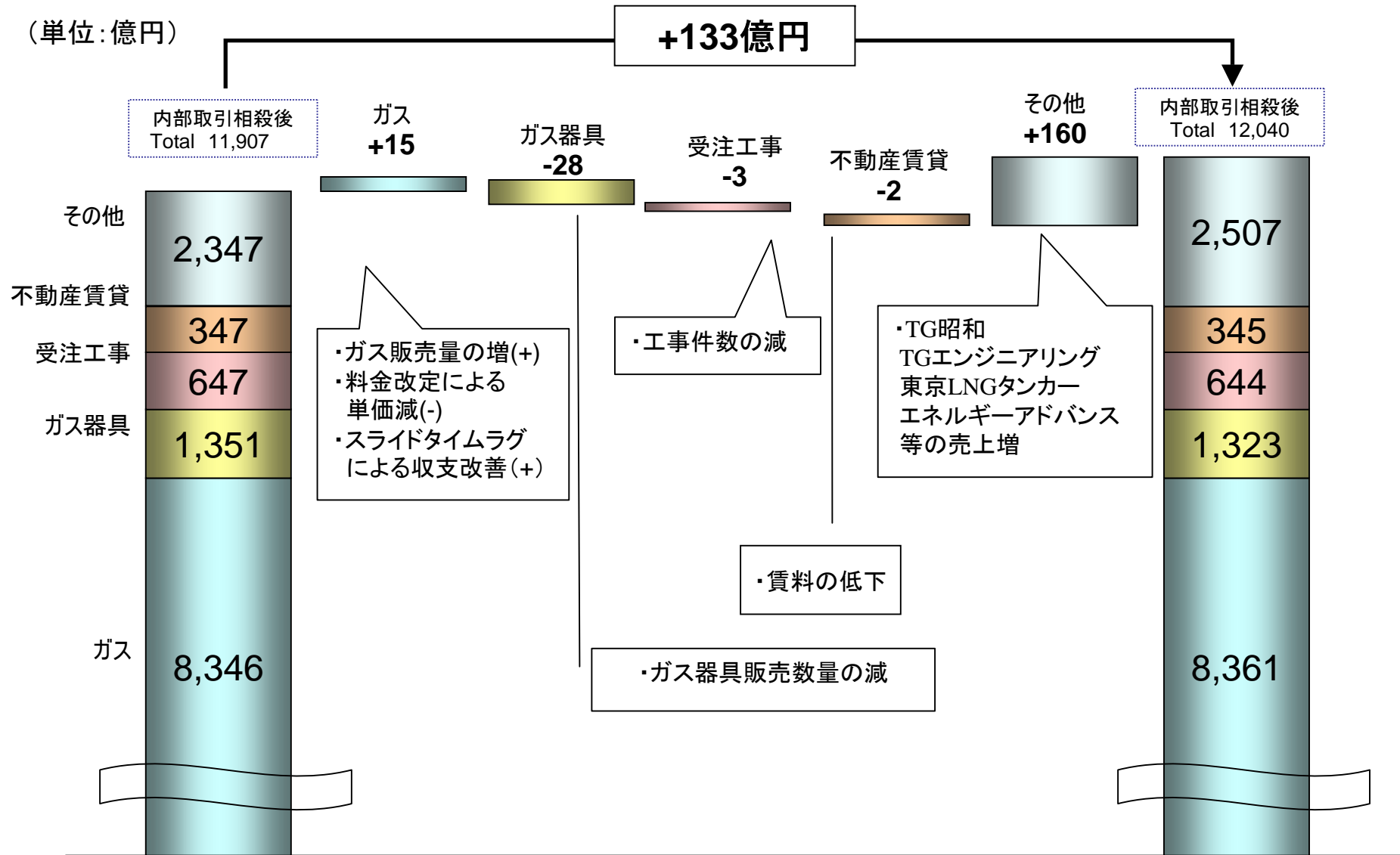
(億円未満切捨て)

	FY04実績	FY05見通し	増減
売上高	11,907	<b>12,040</b>	+133(+1.1%)
営業利益	1,453	<b>1,140</b>	-313(-21.6%)
経常利益	1,328	<b>1,040</b>	-288(-21.7%)
当期純利益	840	<b>680</b>	-160(-19.1%)
為替(円/\$)	107.55	<b>105.00</b>	-2.55
原油(\$/bbl)	38.82	<b>38.00</b>	-0.82



# 売上高増減要因

(単位:億円)



FY04 実績

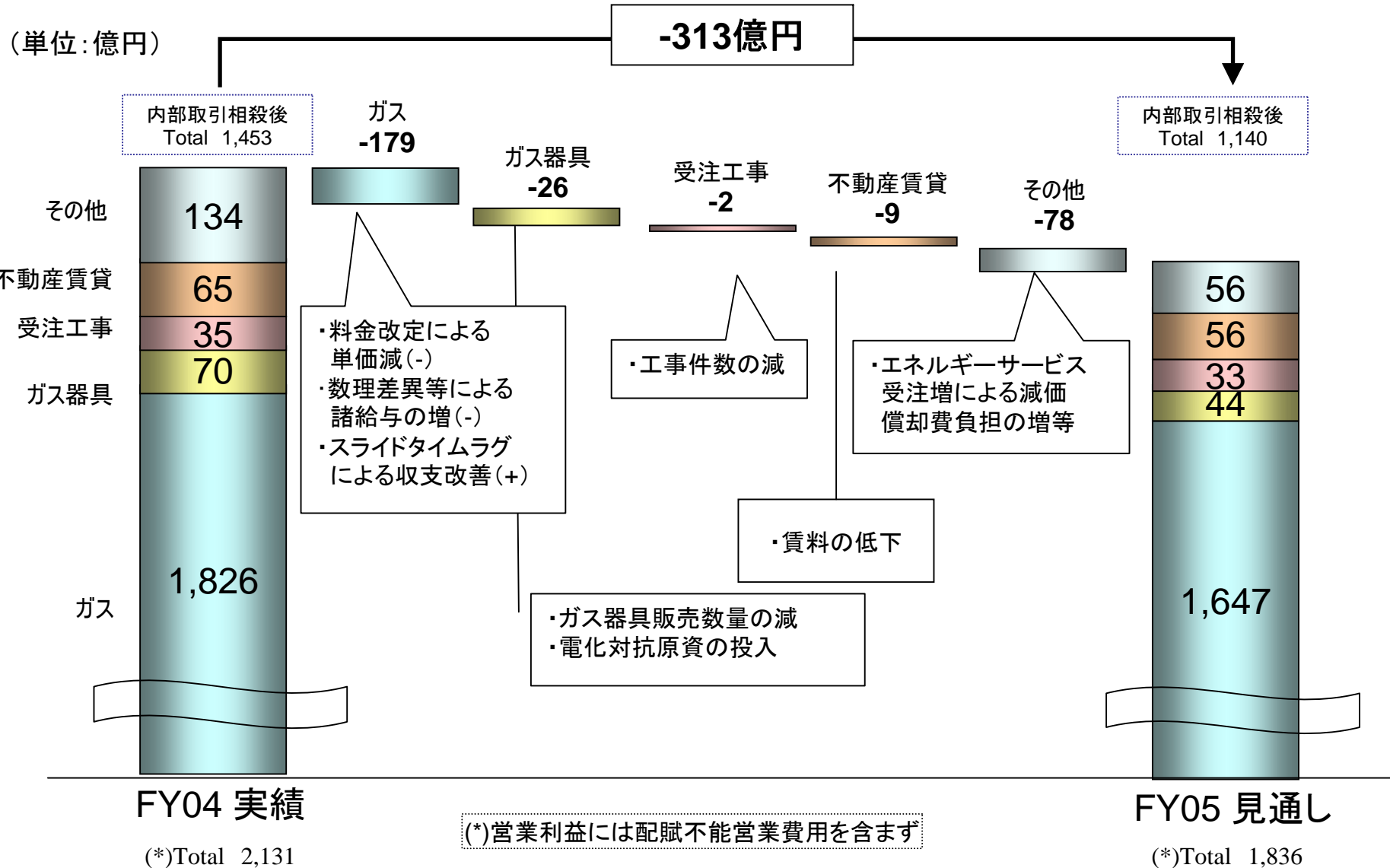
(\*)Total 13,039

(\*)売上高には事業間の内部取引を含む

FY05 見通し

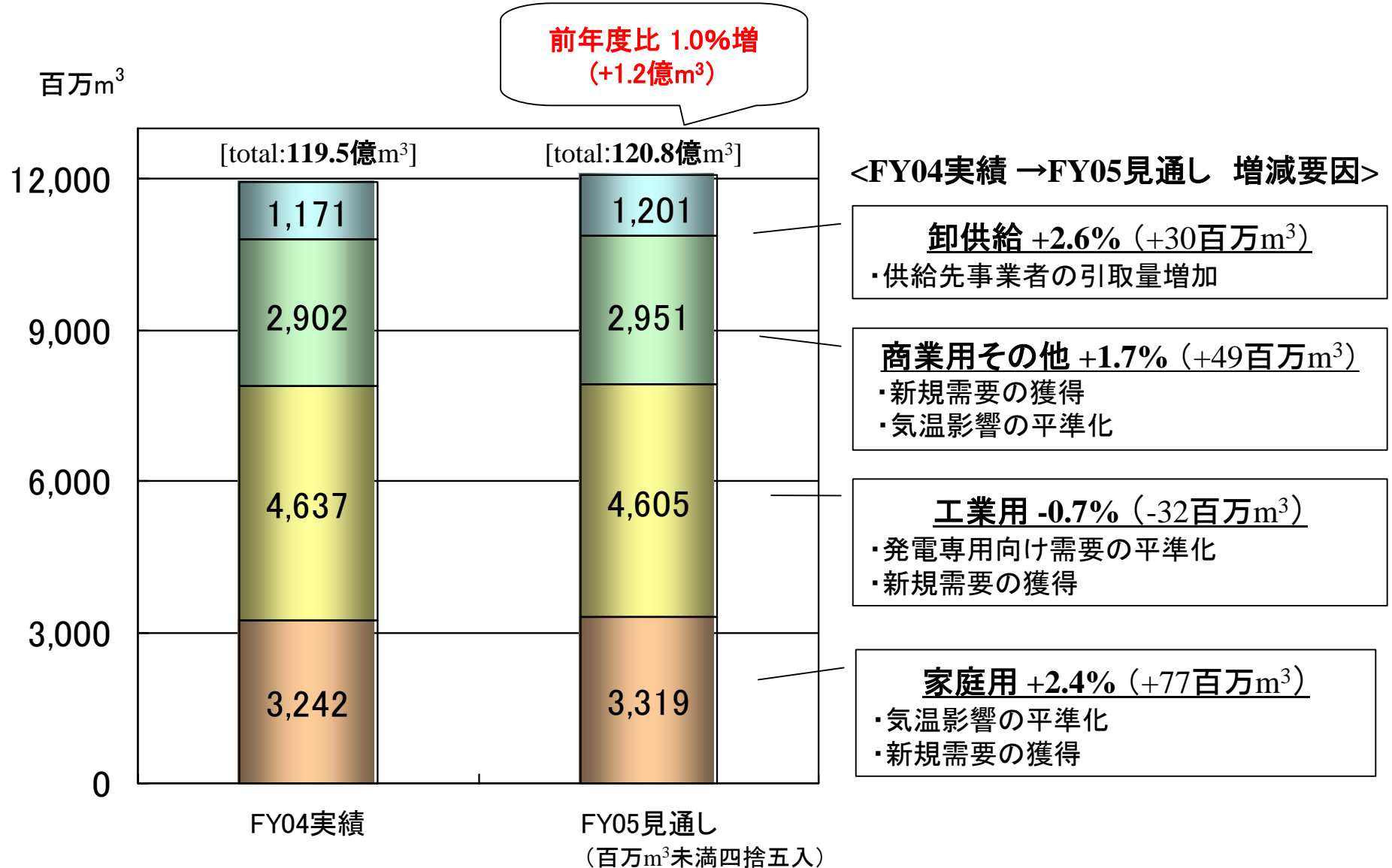
(\*)Total 13,180

# 営業利益増減要因





# ガス販売量見通し(連結)



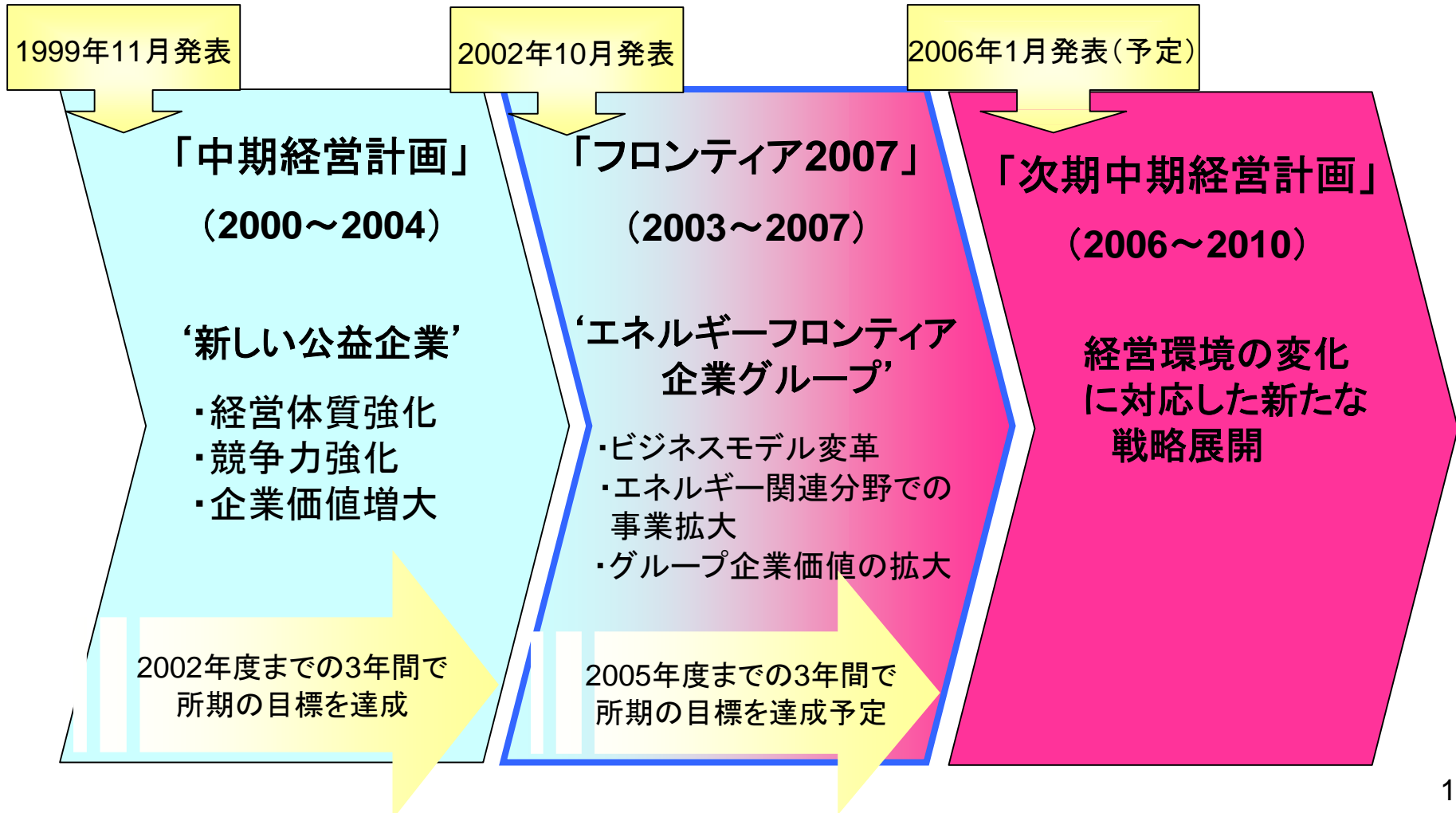
## 2. 「フロンティア2007」進捗状況

---

# 東京ガスグループの経営計画

## <経営ビジョン>

天然ガスを核とする総合エネルギー事業に注力することを通じて、企業価値を増大し、持続的な成長・発展を遂げる。



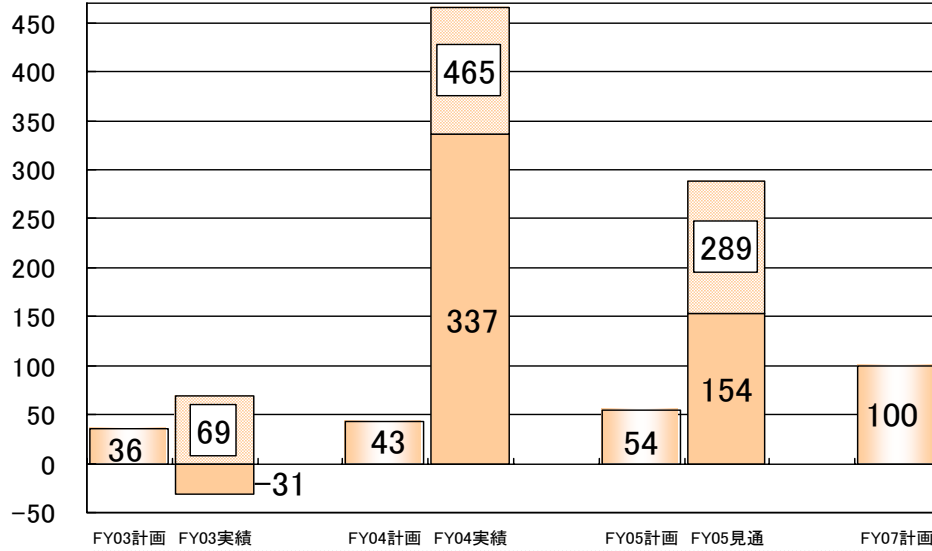


エネルギー・フロンティア

# TOKYO GAS「フロンティア2007」の達成へ

(億円)

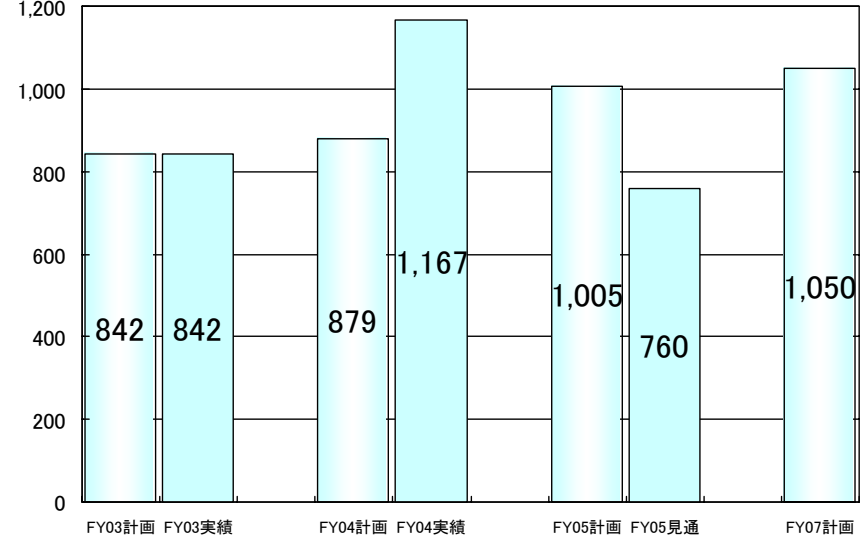
### <TEP(東京ガス版EVA)>



■TEPに算定おけるWACC算定定義を変更  
 □内の数字は新基準による実績値 詳細はスライドP23参照

(億円)

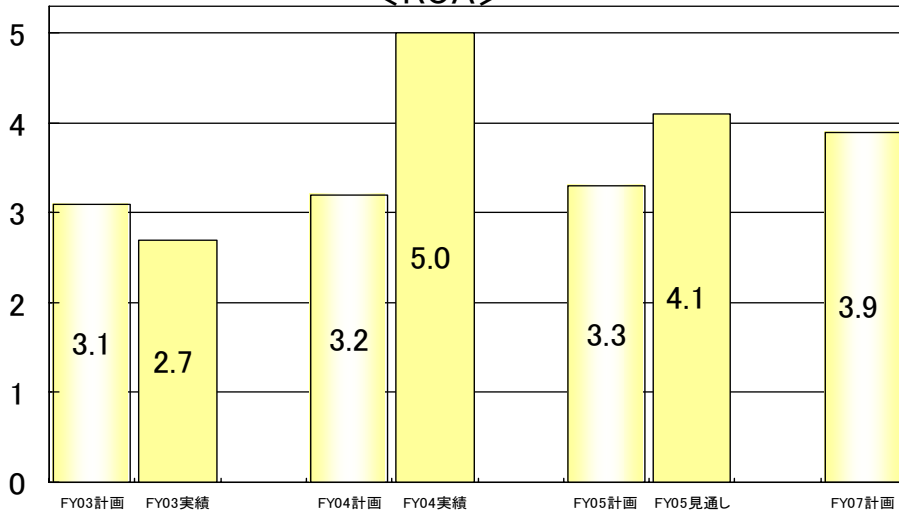
### <フリーキャッシュフロー>



■FCF=当期純利益+長前込み減価償却費-設備投資

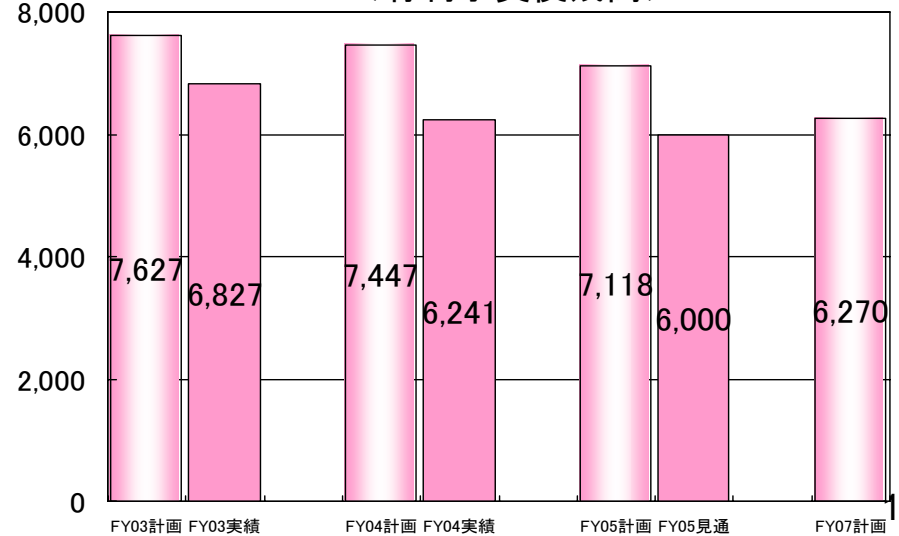
(%)

### <ROA>



(億円)

### <有利子負債残高>



### 3. 主要計数表

---

# 主要計数表

(億円)

	FY03 実績	FY04 実績	FY05 見通し	FY04実績 対 FY03実績	FY05見通し 対 FY04実績
売上高	11,518	11,907	12,040	+389(+3.4%)	+133(+1.1%)
ガス売上高	8,311	8,346	8,361	+35(+0.4%)	+15(+0.2%)
営業利益	1,522	1,453	1,140	-69(-4.6%)	-313(-21.6%)
経常利益	1,310	1,328	1,040	+18(+1.3%)	-288(-21.7%)
当期純利益	447	840	680	+393(+87.7%)	-160(-19.1%)
TEP	69	465	289	+396(+573.9%)	-176(-37.8%)
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> )	11,218	11,952	12,076	+734(+6.5%)	+124(+1.0%)
為替(円/US\$)	113.19	107.55	105.00	-5.64	-2.55
原油(\$/bbl)	29.42	38.82	38.00	+9.40	-0.82
気温(°C)	16.3	17.1	17.0	+0.8	-0.1

# 主要計数表

(億円)

	FY03 実績	FY04 実績	FY05 見通し	FY04実績 対 FY03実績	FY05見通し 対 FY04実績
総資産(a)	16,668	16,687	16,170	+19(+0.1%)	-517(-3.1%)
株主資本(b)	5,984	6,487	6,740	+503(+8.4%)	+253(+3.9%)
株主資本比率(b)/(a)	35.9%	38.9%	41.7%	+3.0%	+2.8%
有利子負債残高	6,827	6,241	6,000	-586(-8.6%)	-241(-3.9%)
利益キャッシュフロー(c)	447	840	680	+393(+87.7%)	-160(-19.1%)
投資キャッシュフロー (d)=(f)－(e)	394	327	80	-67(-17.0%)	-247(-75.6%)
設備投資(e)	1,074	1,075	1,340	+1(+0.1%)	+265(+24.6%)
減価償却(f)	1,468	1,402	1,420	-66(-4.5%)	+18(+1.2%)
フリーキャッシュフロー (c) + (d)	842	1,167	760	+325(+38.6%)	-407(-34.9%)
ROA : (c) / (a)	2.7%	5.0%	4.1%	+2.3%	-0.9%
ROE: (c) / (b)	7.6%	13.5%	10.3%	+5.9%	-3.2%
EPS(円)	16.44	31.47	25.63	+15.03	-5.84

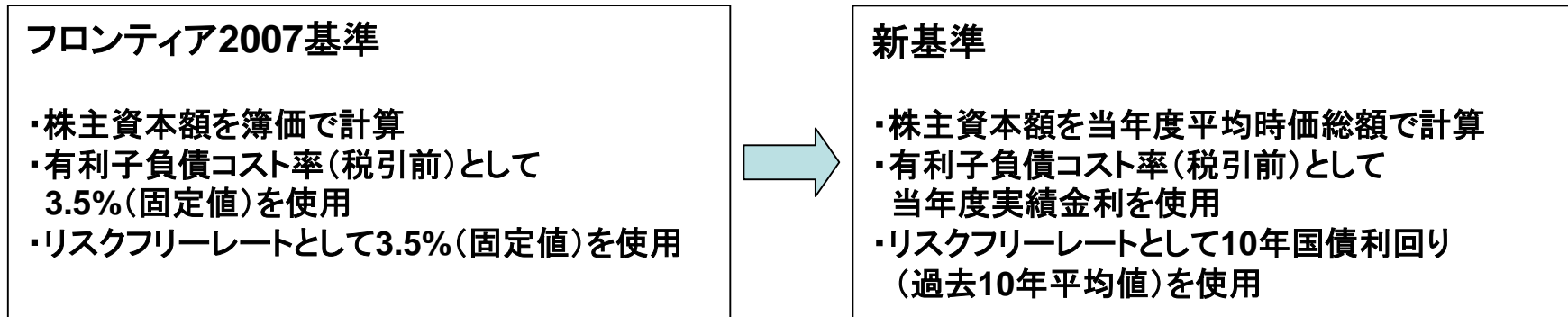
(注) ROA=当期純利益／総資産(期首・期末平均), ROE=当期純利益／株主資本(期首・期末平均)

EPSの分母は期中平均株数

フリーキャッシュフロー={利益キャッシュフロー(当期純利益)}+{投資キャッシュフロー-[(減価償却費)-(設備投資)]}

<参考>

TEP算定におけるWACC算定定義の変更について



[WACC]

FT2007基準	: FY03	4.5%	FY04	4.6%	FY05計画	4.7%
新基準	: FY03	3.7%	FY04	3.6%	FY05見通し	3.7%

[TEP算定式]

TEP=税引後・利払前利益－資本コスト(投下資本×WACC)

$$WACC = D / (D + E) \times R_d \times (1 - t) + E / (D + E) \times (R_f + R_p \times \beta)$$

D:有利子負債額 E:株主資本額 t:税率(36.21%)

Rd:有利子負債コスト率 Rf:リスクフリーレート Rp:リスクプレミアム β:β値